

## 【教科名】 情報

### (1) 目指すもの

情報端末が日常的に利用される現代において、情報に惑わされる事なく情報という「素材」をうまく活用する実践力と、実践的かつ演繹的に物事を対処する適応力を育てる。

多くの情報分野から、より利用する機会の多い「ビジネスソフト」の操作・技術を覚えると同時に基礎能力と応用力を培う。また実技だけに偏らず、情報社会の知識の習得とモラルの向上を目指します。

(学年目標：高校2年)

実技分野では利用頻度の高い「ワープロソフト」「表計算ソフト」「プレゼンテーションソフト」の3つのソフトを重点的に学習し、情報を「表現」し、情報を「処理」し、情報を「発信」する術を身に付ける。更にプログラミングを学び論理的な思考と問題解決能力の習得を目指す。

知識分野では「著作権」「ネットワーク」「デジタル」など情報化社会において必須・または重要な項目を重点的に学習し、「情報」に惑わされない正しい知識を身に付ける。

情報Ⅰを一年間履修することにより情報分野に限らずあらゆる分野において、学んだ技術と知識を遺憾なく発揮することのできる人物の育成を目指して授業に取り組みます。

### (2) 授業の進め方

PCを利用しMM教室での実習を主として進め、知識学習の必要な分野（著作権など）においては教室での板書形式で授業を行う。実習授業では授業の内容に沿った課題をこなし、各単元の終わりに課題を提出する。板書授業では、プリントや教科書を活用し学期の終わりにマークシート方式のテストを行う。また、MM教室で映像資料を鑑賞し更なる理解を深めるなど、様々な情報を用いて授業を進めていく。

### (3) 使用教材について

教科書：情報Ⅰ Step Forward! [東京書籍]

補助教材1：30時間でマスター Office2021 [実教出版]

補助教材2：Excelで学ぶプログラミング [実教出版]

### (4) 授業について

中学－全学年：なし

高校－1年生 [全クラス]：なし

－2年生 [全クラス]：2時間

－3年生 [全クラス]：なし

年間 指導 目標	[技能] ソフトの操作と機能を理解した上で目的に応じて活用する姿勢を身に付ける [知識] 情報の基礎用語から情報モラルまで正しく理解する [総合] 実践的かつ演繹的に物事を捉える姿勢を習得する
----------------	--

学期	時期	使用教材	単元 (章)	学習内容
1 学期	中間	「30 時間で マスター Office2021」 (実教出版)	①ワープロソフトの基 本操作 1	①ワープロソフト基本的な機能の学習 1 [題材] オブジェクトを含む文書の作成 ・ 利用環境の説明とタイピング基礎 ・ 書式の設定
	期 末		②ワープロソフトの基 本操作 2	②ワープロソフト基本的な機能の学習 2 [題材] オブジェクトを含む文書の作成 ・ 文章の装飾 ・ 段落やタブの設定 ・ 罫線やオブジェクトの利用
③課題：見本文書作成		③見本を元に独力で同じ文書を作成し提出		
④【実技試験】		④上記①～③の内容を前提とした実技試験		
⑤プレゼンテーションソフト の基本操作		⑤プレゼンテーションソフト各部機能の学習 ・ プレゼンテーションにおける基礎知識 ・ スライドの操作とオブジェクトの利用 ・ アニメーションの設定		
		⑥個人作品制作	⑥テーマに基づいた作品の制作 (個人作業)	
		⑦～⑧グループ制作	⑦～⑧個人で作成したスライドを グループ作品として統合 (グループ作業) ・ 役割を分担し連携させながら作品を制作 ・ 原稿の作成とリハーサル実施	
		⑨～⑩作品発表と 評価 [相互評価]	⑨～⑩グループ作品の発表と相互評価	
		⑩反省と改善	⑩プレゼンテーションを終えての反省と改善	
		【1 学期は全て実習】	※ 1 学期は筆記試験を行わない	

※ ①単元あたり 2 時間

学期	時期	使用教材	単元（章）	学習内容
2 学期	中間	「30 時間で マスター Office2021」 (実教出版)	①表計算ソフトの 基本操作	① 表計算ソフトの各部機能の学習 【題材】 カレンダー・成績表などの作成 ・セルの操作と罫線の利用 ・自動入力機能とセルの装飾 ・「=」を利用した四則演算の利用
	期末		関数の説明 ②初歩関数の学習 ③関数の学習 1 ④関数の学習 2 ⑤関数の学習 3  ⑥関数の学習 4  ⑦【実技試験】 【教室授業へ移行】 ⑧ネットワークの仕組み ⑨アルゴリズム ⑩プログラミング 事前授業【実習】 ⑪期末考査【筆記試験】	②「Σ▼」を利用した初歩関数の利用 ③順位関数の利用 ④検索関数の利用 1 ・条件付き書式の利用 ⑤分岐関数の利用 条件付きカウント関数の利用 ⑥条件付き合計関数の利用 条件付き平均関数の利用 検索関数の利用 2 ⑦表計算ソフトを利用しての実技試験 ⑧ネットワークの構造と通信の仕組みの学習 ⑨チャート記号とアルゴリズムの学習 ⑩プログラミング事前学習「フローチャート」 ・じゃんけんフローチャートの作成 ⑪マークシートを利用した期末考査
3 学期	学年末	Excel で学ぶ プログラミング (実教出版)	①プログラミング 概要と アプリの使い方  基本的な処理解説  ②プログラミング 1  ③プログラミング 2 【教室授業へ移行】 ④著作権 ⑤情報単位と計算 ⑥アナログとデジタル ⑦期末考査【筆記試験】	①Excel を利用したプログラミングの学習 【題材】 サイコロ・おみくじ・じゃんけん等 をプログラムで再現 ・プログラムの基礎知識と作り方 ・アプリケーションの使い方説明 ・コーディングから実行・デバッグの解説 ・文字列の利用やメッセージの表示 ・変数の利用 ②初歩的なプログラムの作成 ・分岐処理の利用 ・繰り返し処理の利用 ③見本プログラムのアレンジ、 またはオリジナル作品の制作 ④著作権についての学習 ⑤情報の容量単位と進数の計算を学ぶ ⑥アナログとデジタルの特徴を学ぶ ⑦マークシートを利用した期末考査